

平成18年度 岐阜県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
兼東海・全国高等学校総合体育大会岐阜県予選会
2日目:平成18年5月27日(土)
会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム・ふれ愛ドーム

男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	91	$\begin{bmatrix} 29 - 9 \\ 26 - 11 \\ 20 - 23 \\ 16 - 28 \end{bmatrix}$	71	岐南工	杉山広之・清水潤
Bブロック 決勝	高山西	71	$\begin{bmatrix} 10 - 21 \\ 27 - 17 \\ 19 - 17 \\ 15 - 10 \end{bmatrix}$	65	岐阜農林	増田博徳・西尾司
Cブロック 決勝	大垣工	76	$\begin{bmatrix} 22 - 12 \\ 15 - 23 \\ 16 - 14 \\ 23 - 19 \end{bmatrix}$	68	中津川工	大野貴司・棚橋英一
Dブロック 決勝	大垣商	94	$\begin{bmatrix} 32 - 29 \\ 25 - 20 \\ 12 - 20 \\ 25 - 12 \end{bmatrix}$	81	岐阜総合	室谷伸治・角平和優
決勝リーグ	美濃加茂 (1勝)	125	$\begin{bmatrix} 33 - 18 \\ 22 - 20 \\ 34 - 14 \\ 36 - 17 \end{bmatrix}$	69	高山西 (1敗)	小牧秀則・神山元秀

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。美濃加茂は波多野のミドルシュート、安藤の3点シュートなどで着実に得点を重ねる。対する高山西は出だし硬さが見られ、思うように点数が伸びない。第1ピリオドは美濃加茂が15点リードで終了する。第2ピリオド、高山西は新井のミドルシュート、水本のゴール下のシュートで追い上げ始める。対する美濃加茂はファウルトラブルで苦しむが、ベンチメンバーが奮闘し、一進一退の攻防が続く。前半は美濃加茂が55-38と17点リードで折り返す。

第3ピリオドに入ると、美濃加茂は激しいディフェンスから相手のミスを誘い速攻につなげ、一気に30点差を付ける。高山西はたまたずタイムアウトを取るが流れは変わらず、美濃加茂の大量リードで第3ピリオドを終了する。第4ピリオドでは、美濃加茂はスタートメンバーを全員ベンチに下げる余裕を見せ、125-69で圧勝し、決勝リーグ1勝目をあげた。高山西も健闘したが、オフェンスのリズムをつかめないまま敗れた。(宮崎泰彦)

決勝リーグ	大垣商 (1勝)	113	$\begin{bmatrix} 38 - 24 \\ 26 - 22 \\ 22 - 25 \\ 27 - 18 \end{bmatrix}$	89	大垣工 (1敗)	松野瑞穂・山田祐治
-------	-------------	-----	--	----	-------------	-----------

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。開始当初、大垣商はテンポ良く速攻を決め、郡山の3連続を含む4本の3点シュートで突き放す。対する大垣工は岩間の1対1からのドライブで得点を重ね食らいつぐが、第1ピリオドは38-24と大垣商が一步リードする。第2ピリオドは一進一退の攻防が続く。大垣商は三和のポストプレーを軸に得点を重ねる。大垣工は岩間の3本連続のジャンプシュートで追いつがるも点差は縮まらず、前半は大垣商が64-46と18点リードして折り返す。

第3ピリオド、大垣工は田中のポストプレーなどで一時は8点差まで詰め寄る。しかし、大垣商はディフェンスをゾーンからマンツーマンに変えてリズムを取り戻し、小寺の3連続シュートで再び突き放す。第4ピリオド、大垣商は木村、郡山、棚橋がドライブを決め、さらに小寺、服部の3点シュートでとどめを刺し、113-89で大垣工を下し、決勝リーグ1勝目をあげた。大垣工も岩間のジャンプシュート、水谷のポストプレーで食い下がるものの、疲れからディフェンスの足が止まり追い上げ切れなかった。(後藤智憲)

女子の部

< 審判 >

Aブロック 決勝	岐阜女子	133	$\begin{bmatrix} 43 - 9 \\ 31 - 3 \\ 25 - 8 \\ 34 - 8 \end{bmatrix}$	28	加茂	岩永英夫・西本容子
Bブロック 決勝	岐阜総合	90	$\begin{bmatrix} 18 - 10 \\ 21 - 14 \\ 25 - 23 \\ 26 - 18 \end{bmatrix}$	65	多治見西	相宮俊郎・赤石恵美子
Cブロック 決勝	県岐阜商	103	$\begin{bmatrix} 27 - 10 \\ 22 - 18 \\ 29 - 9 \\ 25 - 16 \end{bmatrix}$	53	中津	小泉純子・後藤慎二
Dブロック 決勝	高山西	77	$\begin{bmatrix} 18 - 13 \\ 12 - 21 \\ 29 - 5 \\ 18 - 9 \end{bmatrix}$	48	関商工	早野宏樹・田中昭博
決勝リーグ	岐阜女子 (1勝)	132	$\begin{bmatrix} 38 - 17 \\ 36 - 7 \\ 23 - 11 \\ 35 - 17 \end{bmatrix}$	52	岐阜総合 (1敗)	細井恒樹・小池匡弥

岐阜女子はオールコートマンツーマン、岐阜総合はハーフコートマンツーマンで始まる。岐阜女子は第1ピリオド開始から激しいディフェンスを仕掛け、ダブルチーム、ローテーションディフェンスで相手ボールを奪うと茅谷、田中沙、伊藤が次々にシュートを決め得点を伸ばす。岐阜総合は宮崎、田代の3点シュートや杉山のハイポストからのシュートで反撃を試みるが、相手の守りを打ち破れず追い上げられない。第2ピリオドに入っても岐阜女子は攻撃の手を緩めず、全員が速攻に走っては茅谷、安井らがゴール下のシュート、リバウンドシュートを決める。岐阜女子は前半で74-24と大きくリードを奪い、完全に優位に立った。

後半に入っても岐阜女子はベンチメンバーがよくシュートを決め、さらに点差を広げる。岐阜総合も角野、三好の3点シュート、大野のポストシュート、酒井の速攻で必死に食い下がる。しかし、岐阜女子は速さ、高さ、選手層の厚さで群を抜き、力の差を見せつけて132-54で圧勝し、順当に決勝リーグ1勝目をあげた。(井口貢志)

決勝リーグ	県岐阜商 (1勝)	86	$\begin{bmatrix} 31 - 26 \\ 18 - 10 \\ 14 - 24 \\ 23 - 14 \end{bmatrix}$	74	高山西 (1敗)	藤浪元明・長屋貴
-------	--------------	----	--	----	-------------	----------

立ち上がりから両校ともハーフコートマンツーマンでじっくりと守る落ち着いた出だしとなった。第1ピリオド、高山西のヘルプディフェンスが功を奏し、相手のターンオーバーを誘っては畦地、上田らがシュートを決め、高山西が序盤リードを奪った。しかし県岐阜商も梶野の連続7得点の活躍などで一気に逆転し、第1ピリオドは県岐阜商が31-26とリードした。第2ピリオドに入り、高山西は張の高さを活かしたオフェンスで県岐阜商に迫るが、県岐阜商は長瀬の3点シュートなどで応戦し、前半を49-36と13点差を付けて終了した。

第3ピリオドでは、高山西が室谷のディフェンスの頑張りや畦地のジャンプシュートなど2年生の活躍により3点差まで詰め寄った。第4ピリオドに入っても緊迫した一進一退の攻防が続いたが、残り3分から県岐阜商は長瀬の3点シュートや梶野のオフェンスリバウンドからのシュートや3点シュートなどで徐々に点差を広げ、最後は86-74で勝利し、決勝リーグの1勝目をあげた。(岩井憲司)